

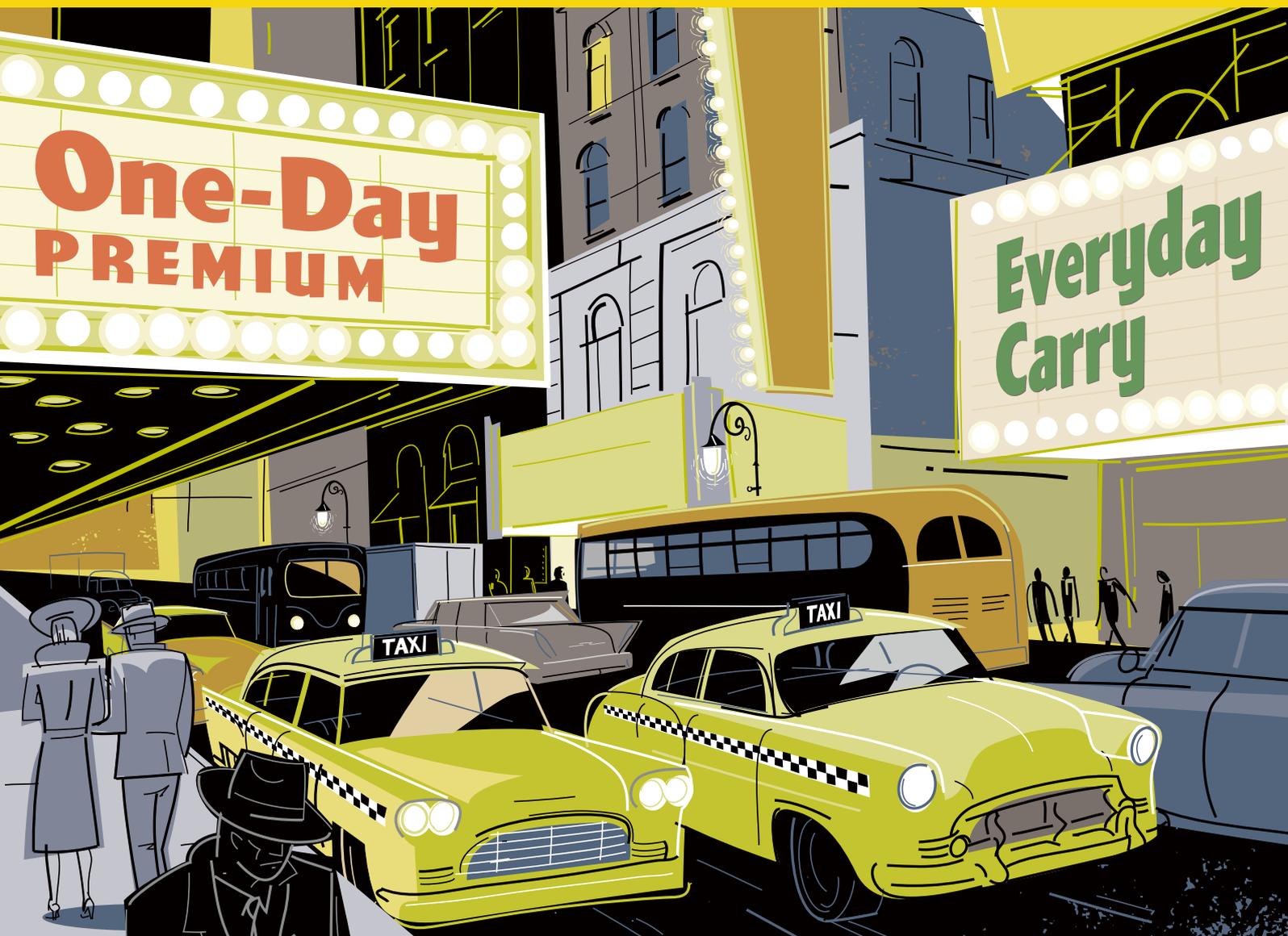
ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラストー

## One-Day・プレミアム

～愛称：エブリデイ・キャリー～

(米ドルクラス受益証券／米ドルクラス(毎月分配型)受益証券  
円ヘッジクラス受益証券／円ヘッジクラス(毎月分配型)受益証券)

アイルランド籍契約型公募外国株式投資信託(追加型)



投資信託のお申込みに際しては、投資信託説明書(交付目論見書)等をよくお読みになり、  
契約内容およびリスク・手数料等をご理解いただいたうえでお客様ご自身の判断と責任においてお取引ください。

投資信託取引に  
関する注意事項

- 投資信託は銀行預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、SMBC信託銀行で取扱う投資信託は金融商品仲介口座を通じた取扱いの場合を除き、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、元本・利回りの保証はありません。

その他  
のご留意事項

- ※お申込みの際には、「外国証券取引口座約款」に基づき、外国証券取引口座を設定していただく必要があります。
- ※米国税法上の米国人(米国民、米国居住者またはグリーンカード保有者)は、居住・非居住にかかわらず投資信託の取引申込みができません。また、非居住者およびSMBC信託銀行への届出住所が日本国外のお客様についても同様となります。
- ※本資料は販売用資料としてSMBC信託銀行が作成したものです。本資料に記載された情報は、十分信頼に足ると考えられる情報源に基づいておりますが、その情報の正確性、完全性および公平性については、SMBC信託銀行並びにその関連会社が保証するものではありません。また、その情報を使用することにより生ずる、直接または間接のいかなる損失に対しても、責任を負うものではありません。本資料に記載された内容は作成時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは、

PRESTIA

商号等 株式会社SMBC信託銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人 投資信託協会  
一般社団法人 日本投資顧問業協会  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

## ファンド関係会社

管理会社 ウェイストーン・マネジメント・カンパニー(IE)リミテッド  
販売会社 株式会社SMBC信託銀行  
投資運用会社 ウェイストーン・アセット・マネジメント(IE)リミテッド<sup>(注)</sup>

(注) 2023年12月31日付で、ファンドの投資運用会社であるウェイストーン・アセット・マネジメント(IE)リミテッドは、ウェイストーン・インベストメント・マネジメント(IE)リミテッドに吸収合併される予定です。当該合併により、ウェイストーン・インベストメント・マネジメント(IE)リミテッドが合併と同日付でファンドの投資運用会社となります。

管理事務代行会社 ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシーズ(アイルランド)リミテッド  
受託会社 ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシーズ(アイルランド)リミテッド  
代行協会員 ゴールドマン・サックス証券株式会社

# 景気に左右されにくい収益源に着目

## ▶ 株価下落に対する「投資家心理」を収益化

- 景気減速、政権交代や財政・金融政策の変更への懸念、紛争等の地政学リスク、未知の感染症の拡大など、株式市場の先行き不透明感に対して保有資産の損失を抑制したい投資家心理は常に存在します。
- 本ファンドでは株式市場の下落に備えるための保険として取引されるプット・オプションの売り手となり、プレミアムの受領を通じたインカム獲得を目指す投資戦略を実質的な投資対象としています。

本ファンドの投資家

プット・オプションの売却

プレミアムの受領

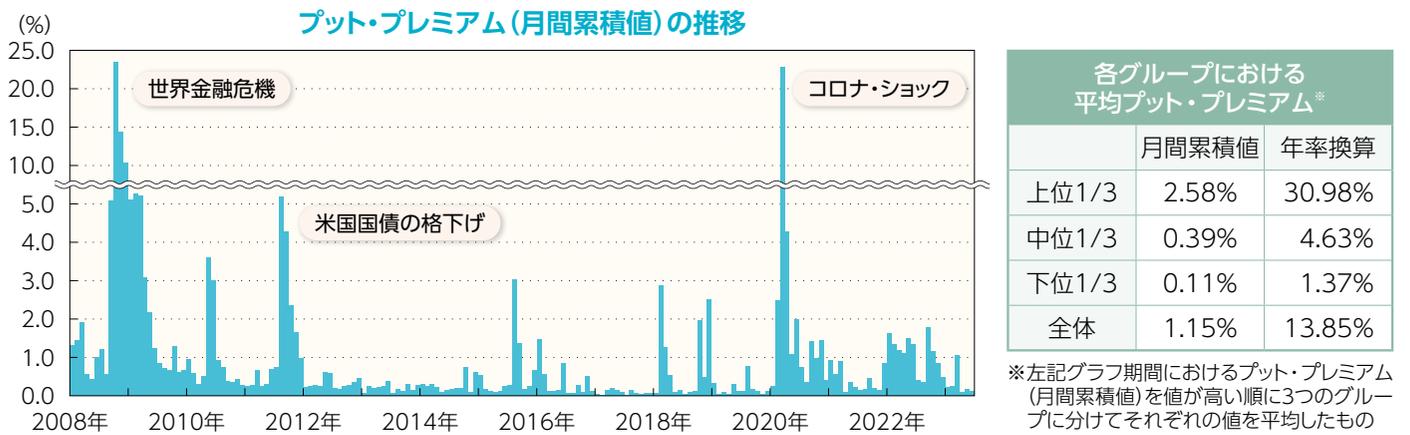
プット・オプションの買い手

**✍️** プット・オプションの売り手は買い手からプット・プレミアムを受領する代わりにあらかじめ決められた権利行使価格で株式を購入する義務を負います。プット・オプションの満期日に株価が権利行使価格を下回った場合は権利行使価格と時価との差額が損失となります。

**💰** プット・オプションの売却のイメージ

## ▶ プット・プレミアムの推移

- 機関投資家を中心とした株式市場の下落に対する恒常的なヘッジ需要を背景にプット・プレミアムは長期にわたって一定のインカムを提供しています。また、株式市場が大きく下落する局面ではプット・プレミアムの水準が上昇する傾向があります。



出所：ゴールドマン・サックスのデータをもとにSMBC信託銀行が作成。 期間：2008年1月～2023年6月末  
 上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

## ▶ 本ファンドの特色

- 1 本ファンドは、S&P500指数(以下、S&P500といいます。)を原資産とした上場プット・オプション\*(原則として期間1日)を日次で売却する戦略(以下、「本戦略」または「参照戦略」といいます。)に投資を行います。
- 2 本戦略への投資を通じて、プット・オプションの売却によるプレミアムの受領により、安定的なインカム収入の獲得を目指します。
- 3 「米ドルクラス」、「米ドルクラス(毎月分配型)」、「円ヘッジクラス」および「円ヘッジクラス(毎月分配型)」の4つのクラスがあります。「円ヘッジクラス」および「円ヘッジクラス(毎月分配型)」は、原則として米ドル売り日本円買いの為替予約取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

※当該オプションの権利行使価格を、前日のニューヨーク(以下、NYといいます。)現地時間正午頃の所定の時間帯におけるS&P500の平均値(以下、権利行使価格算出基準値といいます。)の97%とすることで、S&P500の下落率が権利行使価格算出基準値から日次で3%以内であれば、オプションの損失は発生しない仕組みとなっています。

## ▶ プット・オプション売却の流れ

**ステップ1** NY現地時間正午頃に、権利行使価格算出基準値の97%に最も近い\*権利行使価格の上場オプションを選定します。

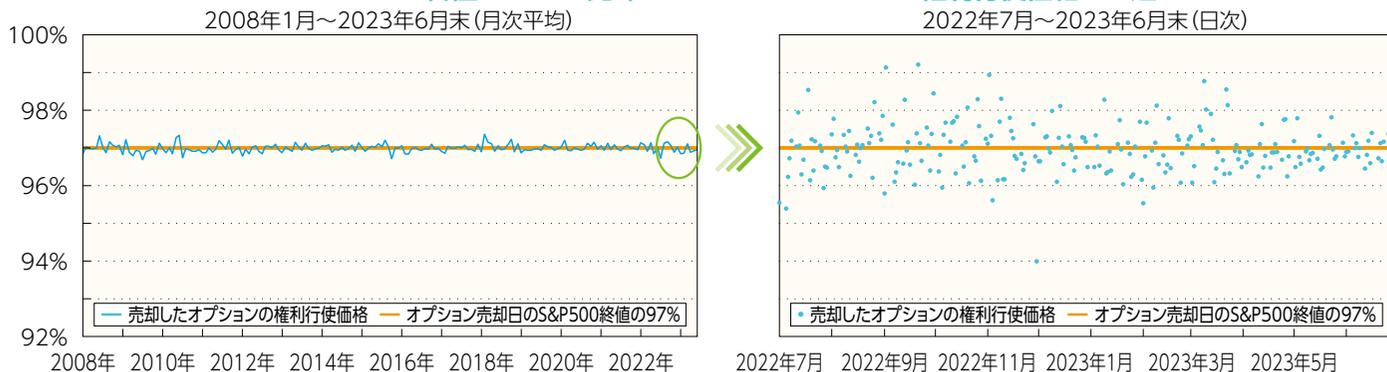
\*売却する上場オプションの権利行使価格は、取引市場が定める呼値の単位(価格の刻み幅)によって権利行使価格算出基準値に対して正確に97%とならない可能性があります。

**ステップ2** その後、NY市場の取引時間中に、分散して当該オプションを売却し、プレミアムを受領します。

**ステップ3** 当該オプションの売却ポジションを満期日(翌営業日)まで保有します。

⚠ 売却したプット・オプションの権利行使価格は、概ねオプション売却日におけるS&P500終値の97%に近い値となりますが、市場環境によって大きく乖離する場合があります。

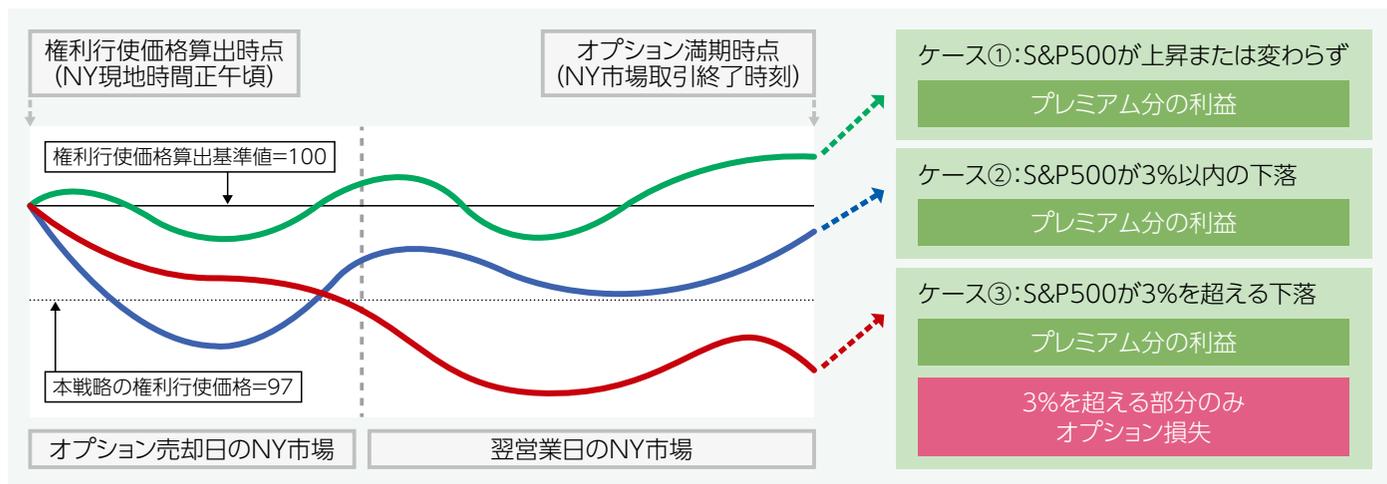
S&P500の終値の97%と売却したプット・オプションの権利行使価格との違い



出所：ゴールドマン・サックス、BloombergのデータをもとにSMBC信託銀行が作成。 期間：2008年1月～2023年6月末  
 上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

## ▶ 本戦略の損益イメージ

- S&P500の下落率が権利行使価格算出基準値から日次で3%以内であれば、プレミアム分の利益がリターンとなります。一方、下落率が3%を超えた場合、**3%を超えた部分に関して**オプションの損失が発生します。その場合でも、合計損失はそのオプション損失からプレミアム分の利益を差し引いた分に限定されます。



### ケース③の具体例：

S&P500の下落率	プレミアム収入*	オプション損失	損益
-5%	0.05%	3% - 5% = -2%	-1.95%
-10%	0.05%	3% - 10% = -7%	-6.95%
-15%	0.05%	3% - 15% = -12%	-11.95%

\*2008年1月～2023年6月末における平均日次プレミアム

S&P500指数はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス・エル・エル・シーが算出している米国の代表的な株価指数です。ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場している企業の中から代表的な500社を選出し、その銘柄の株価をもとに算出される、時価総額加重平均型株価指数です。米国株式市場全体の動きを表す指標として機関投資家などに広く利用されています。

## オプション損失の発生確率のイメージ

- 2008年1月～2023年6月末の計3,900営業日のうち、S&P500が3%以上の下落となった日の割合は2%となっています(そのうち、5%以上の下落となった日の割合は0.5%となっています。)

S&P500の日次騰落率の分布

	-5%以上下落	-5%～-3%	-3%～0%	0%～5%	5%以上上昇
日数	18	60	1,712	2,095	15
割合	0.5%	1.5%	43.9%	53.7%	0.4%

出所: BloombergのデータをもとにSMBC信託銀行が作成。 期間: 2008年1月～2023年6月末  
 上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

## 市場が大きく変動した局面におけるパフォーマンス推移

- 本戦略のオプション損失は権利行使価格算出基準値から日次で3%を超えて下落した部分に限定されるため、株式市場が大きく下落した局面において、本戦略は相対的に下落を抑えることができました。

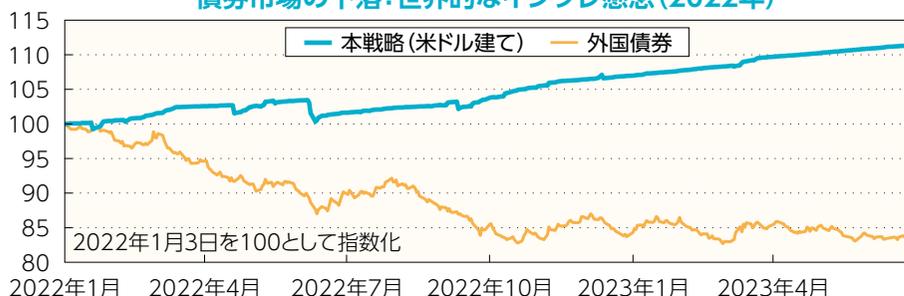
株式市場の下落: コロナ・ショック(2020年)



	リターン	最大下落率
本戦略(米ドル建て)	4.1%	-7.8%
S&P500	15.3%	-33.9%

- 本戦略は金利の変動に左右されにくいいため、各国で金利が上昇(債券価格は下落)した局面でも堅調なパフォーマンスとなりました。

債券市場の下落: 世界的なインフレ懸念(2022年)

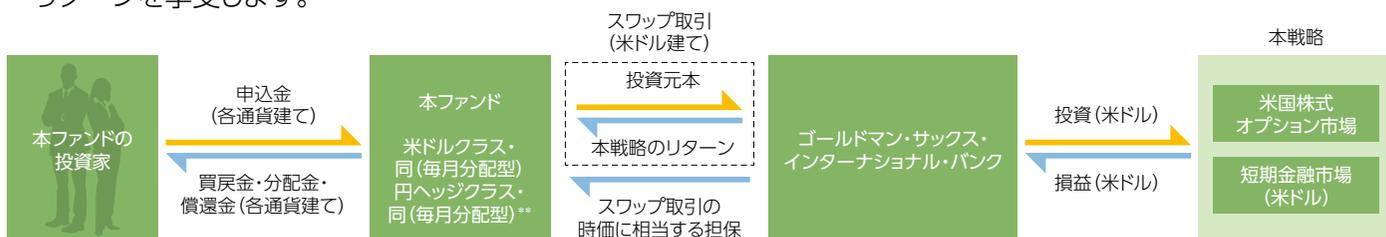


	リターン	最大下落率
本戦略(米ドル建て)	11.4%	-3.0%
外国債券	-16.7%	-17.2%

出所: ゴールドマン・サックス、BloombergのデータをもとにSMBC信託銀行が作成。 期間: 上段 2020年1月～2020年12月末 下段 2022年1月～2023年6月末  
 上記は、本ファンドの実質的な主要投資対象である本戦略のパフォーマンス(戦略手数料控除後)であり、本ファンドのパフォーマンスではありません。また、本ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

## 本ファンドの仕組み

- 本ファンドはゴールドマン・サックス・インターナショナル・バンクとの担保付スワップ取引\*を通じて本戦略のリターンを享受します。



※ 上記はファンドの仕組みを説明するためのイメージ図であり、実際の運用とは異なる場合があります。

\* 本ファンドにおける担保付スワップ取引では投資元本をスワップ取引の相手方であるゴールドマン・サックス・インターナショナル・バンクに支払う代わりに、本戦略のリターンを受け取ります。

\*\* 円ヘッジクラス・同(毎月分配型)は原則として米ドル売り日本円買いの為替予約取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

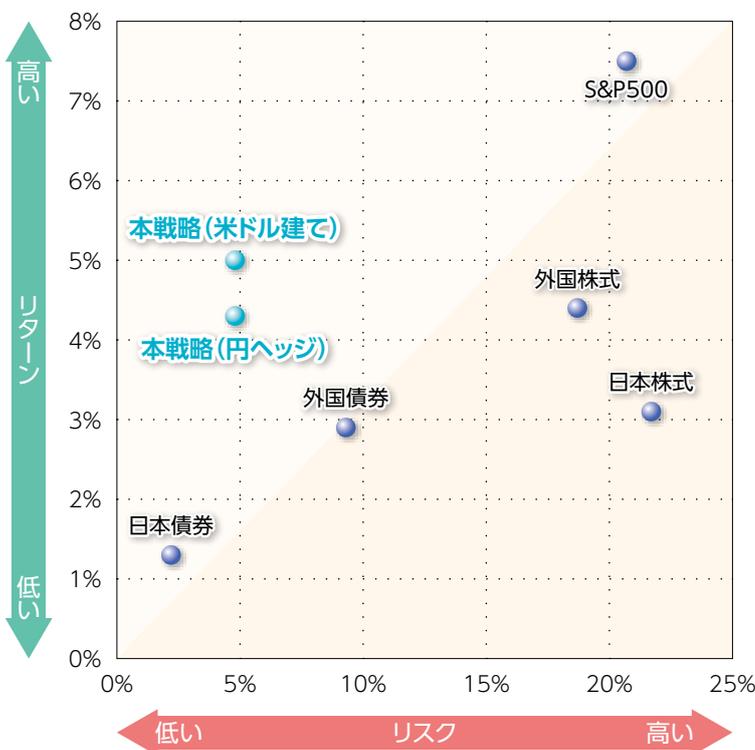
# 本戦略のパフォーマンス

- 2008年1月～2023年6月の計186月のうち、本戦略が月次でマイナスとなったのはわずか12回で、年間では全期間でプラスとなっています。

本戦略の月次パフォーマンス(米ドル建て)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2008年	1.1%	0.8%	2.3%	0.7%	0.6%	1.0%	1.3%	0.6%	-1.6%	-6.8%	-3.9%	10.2%	5.5%
2009年	2.7%	0.0%	0.8%	2.3%	2.2%	1.1%	0.3%	0.7%	0.7%	0.9%	0.9%	0.5%	14.0%
2010年	0.9%	0.6%	0.3%	0.3%	1.3%	2.7%	1.1%	0.8%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	9.6%
2011年	0.2%	0.3%	0.7%	0.2%	0.3%	0.7%	0.5%	2.7%	-1.4%	1.5%	0.8%	0.9%	7.5%
2012年	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.6%	0.6%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	3.6%
2013年	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	-0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.2%	1.4%
2014年	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.7%	0.1%	0.5%	2.9%
2015年	0.5%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	-1.6%	0.6%	0.1%	0.2%	0.6%	1.3%
2016年	1.6%	0.5%	0.1%	0.1%	0.1%	0.5%	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.5%	0.1%	4.0%
2017年	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	1.6%
2018年	0.2%	-1.3%	1.4%	0.7%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.7%	0.6%	0.2%	3.4%
2019年	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%	0.3%	0.8%	0.4%	0.3%	0.1%	0.2%	3.9%
2020年	0.2%	-1.6%	1.8%	0.5%	0.4%	-1.3%	0.7%	0.3%	1.3%	-0.2%	1.7%	0.3%	4.1%
2021年	0.7%	0.6%	1.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.2%	0.4%	0.2%	0.1%	0.9%	4.8%
2022年	0.4%	0.9%	1.2%	-0.6%	1.4%	-1.7%	0.7%	0.5%	0.8%	1.7%	1.1%	0.5%	6.9%
2023年	0.6%	0.6%	1.3%	0.4%	0.6%	0.5%							4.1%

- 上記期間における本戦略の年率リターン／年率リスクの比率(運用効率)は、S&P500およびその他伝統資産より高くなっており、相対的に低いリスクで高いリターンを生み出すことが期待されます。



	年率リターン	リスク
本戦略(米ドル建て)	5.0%	4.8%
本戦略(円ヘッジ)	4.3%	4.8%

出所：ゴールドマン・サックス、BloombergのデータをもとにSMBC信託銀行が作成。 期間：2008年1月～2023年6月末  
 上記は、本ファンドの実質的な主要投資対象である本戦略のパフォーマンス(戦略手数料控除後)であり、本ファンドのパフォーマンスではありません。また、本ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。  
 本資料で使用した各種インデックスについて  
 日本債券：NOMURA-BPI総合／外国債券：FTSE WGBI(除く日本)／日本株式：TOPIX／外国株式：MSCI KOKUSAI

## 分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、1口当たり純資産価格は下がります。

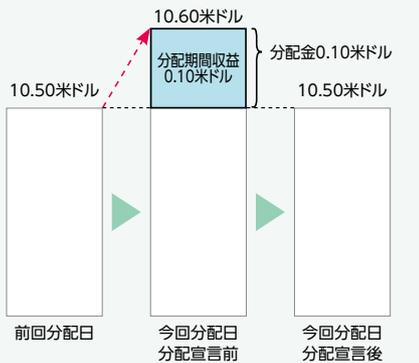
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



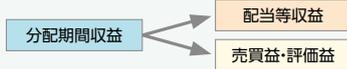
分配金は、分配期間<sup>(注)</sup>中に発生した収益(投資対象資産から生じる利息および配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当月分配日(分配宣言後)の1口当たり純資産価格は前回分配日の翌日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(注) 分配期間とは、分配日の翌日から次の分配日までの期間を指します。

### 分配期間中に発生した収益の中から支払われる場合

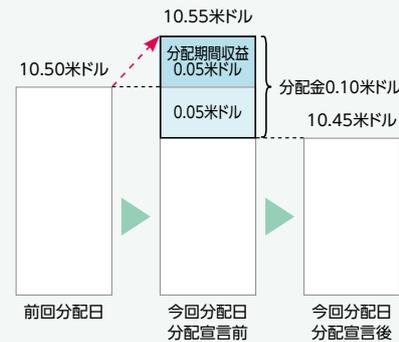


※上図の分配期間収益は以下の2項目で構成されています。



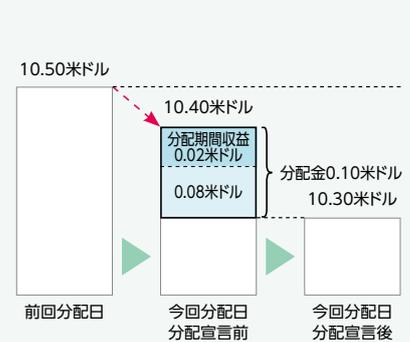
### 分配期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

<前回分配日から1口当たり純資産価格が上昇した場合>



(注) 分配期間に生じた収益以外から0.05米ドルを取り崩し

<前回分配日から1口当たり純資産価格が下落した場合>



(注) 分配期間に生じた収益以外から0.08米ドルを取り崩し

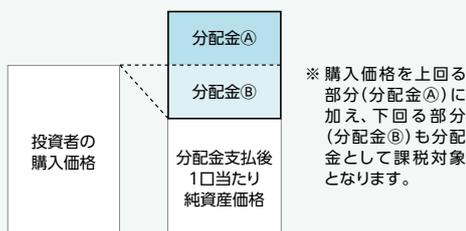
\* 上記はイメージであり、実際の分配金額や1口当たり純資産価格を示唆するものではありませんのでご注意ください。

\* 上記は便宜的に米ドルでのみ表示していますが、実際の分配金額や1口当たり純資産価格は、各クラスの表示通貨(米ドル、日本円)により表示されます。

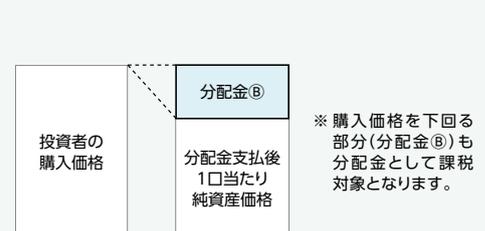
分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資家の場合には、市場の変動等に伴う組入資産の価値の減少だけでなく、収益分配金の支払いによる元本の払戻しにより、ファンドの1口当たり純資産価格が減価することに十分ご注意ください。

投資家のファンドの受益証券の購入価格によっては、以下のとおり、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。この場合、当該元本の一部払戻しに相当する部分も分配金として分配課税の対象となります。ファンド購入後の1口当たり純資産価格の値上がり、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払戻しに相当することがあります。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



(注) 分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「税金」をご覧ください。

## 投資リスク

受益証券1口当たり純資産価格は、ファンドに組み入れられている有価証券等の値動きおよび為替相場の変動等により上下します。また、米ドルクラス受益証券および米ドルクラス(毎月分配型)受益証券の純資産価格は外貨建てで算出されるため、当該通貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、受益証券1口当たり純資産価格の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用および為替相場の変動による損益はすべて投資者の皆様には帰属します。投資信託は預貯金と異なります。以下は、網羅的なものではなく、ファンドの主な投資リスクの要点だけを述べたものです。他のリスクを含む詳細は、請求目論見書をご参照ください。

### <主なリスク>

#### 投資目的

ファンドの投資目的が、一定期間(特に短期)のうちに達成される保証はありません。

投資者は、受益証券の価格が上昇することもあれば下落する可能性もあることを認識すべきです。特に、ファンドに対する投資は、投資者が投資元本全額を失う可能性を含む投資リスクに服します。

#### 無保証

ファンドに対する投資は、銀行等により保証されているものではありません。ファンドの受益証券は、銀行の預金ではなく、受益証券に投資された金額は上下に変動する可能性があります。元本の確保は保証されません。

#### 価格変動リスク

ファンドへの投資には、参照戦略の価値の変動等の様々なリスクが伴います。参照戦略の価値の下落、スワップ・カウンターパーティーの破綻や財務状況の悪化等の市場環境により、ファンドの純資産価格が下落し、投資元金を割り込み損失を被ることがあります。

#### 為替リスク

米ドルクラス受益証券および米ドルクラス(毎月分配型)受益証券は、米ドル建てです。そのため、投資者の金融活動が主に米ドル以外の通貨でなされている場合、為替リスクが生じます。また、円ヘッジクラス(毎月分配型)受益証券および円ヘッジクラス受益証券につきましては、為替ヘッジ取引を行い、為替変動リスクの低減を図ることが意図されていますが、為替リスクを完全にヘッジできる保証はなく、為替変動の影響を受ける可能性があります。

#### スワップ・カウンターパーティーの義務の不履行

スワップ・カウンターパーティーは、規制上の理由、スワップ・カウンターパーティーに関連する税法もしくは会計法の変更、またはその他の理由により、スワップ契約に基づく義務を履行できない可能性があります。このような場合、ファンドの投資戦略が中断または中止されるリスクがあります。このような状況下において、ファンドの投資目的および投資方針が達成されない可能性があり、ファンドにおいて発生した損失を回復できない可能性があります。ファンドが受益者に対する義務を履行できるかどうかは、スワップ契約の下でスワップ・カウンターパーティーがファンドに対して義務を負う支払いをファンドが受領することができるかどうかによって依拠します。その結果、ファンドはスワップ・カウンターパーティーの信用力にさらされることとなります。

ファンドは、受託会社および管理会社またはその関連会社により信託証書に従い運用されており、それらの者の商品です。投資運用会社および管理会社は、ゴールドマン・サックス・インターナショナルよりこのファンドのために参照戦略の使用に関するライセンスを得ています。Goldman Sachs & Co. LLCおよびその関連会社(以下「GS」といいます。)は、ファンドまたはその関係もしくは関連する会社もしくはファンドを含みますがこれに限られない金融商品もしくは投資信託と、(代行協会員として委託された事務を除き)何らの関係、関与または関連がありません。GSは、ファンドの設立または販売に責任を負わず、また参加していません。GSおよびその使用許諾者は、有価証券一般もしくはファンドへの投資またはファンドが市場一般もしくは指数実績を追跡する能力の有無もしくは投資リターンを提供する能力の有無に関して、ファンドの保有者または公衆に対し、明示的か黙示的かを問わず、いかなる表明または保証も行いません。GSは、ファンドの価格または金額、ファンドの発行または販売の時期、ファンドを現金化し、引き渡すまたは償還する(場合によります。)ための等式の決定または計算に、責任を負わず、また関与していません。GSは、ファンドの管理事務、マーケティングまたは取引に関して義務および責任を負いません。投資商品が、正確に指数実績を追跡すること、または投資リターンを提供することについて、保証はありません。GSは投資助言者ではなく、そのため、いかなる有価証券についても購入、売却または保有の推奨を行わず、また投資助言も行っていない。GSは、ファンドを支持し、承認し、スポンサーとなり、または販売促進することはなく、ファンドに投資することを推奨することを行いません。

# お申込みメモ

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンド名称	ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト - One-Day・プレミアム ～愛称:エブリデイ・キャリー～ 米ドルクラス受益証券/米ドルクラス(毎月分配型)受益証券/円ヘッジクラス受益証券/円ヘッジクラス(毎月分配型)受益証券
商品分類	アイルランド籍契約型公募外国株式投資信託(追加型)
設定日	2023年9月12日
申込期間	当初申込期間:2023年8月28日(月)から2023年9月8日(金)まで 継続申込開始日:2023年9月12日(火)
信託期間	ファンドは、2023年9月12日に運用を開始し、原則として2033年8月31日に終了します。
ファンド営業日	ニューヨーク、ロンドン、ダブリンおよび東京の各地において銀行および証券取引所が営業を行っている各日(土曜日または日曜日を除きます。)ならびに/または管理会社が受託会社と協議の上でファンドに関して随時決定するその他の日をいいます。
申込価格	当初申込期間:受益証券1口当たり10.00米ドル(米ドルクラス受益証券および米ドルクラス(毎月分配型)受益証券) 受益証券1口当たり1,000円(円ヘッジクラス受益証券および円ヘッジクラス(毎月分配型)受益証券) 継続申込期間:関連する申込日現在の受益証券1口当たり純資産価格
申込単位	受益証券の申込みに係る最低申込金額は、米ドルクラス受益証券および米ドルクラス(毎月分配型)受益証券の場合は3,000米ドル以上0.01米ドル単位、円ヘッジクラス受益証券および円ヘッジクラス(毎月分配型)受益証券の場合は50万円以上1円単位、または管理会社が一般的にもしくは特定の場合に決定することができるその他の金額とします。申込期間中の追加購入単位の詳細については、販売会社にご照会ください。
買戻価格	関連する買戻日現在の受益証券1口当たり純資産価格
買戻単位	1口以上1,000分の1口単位(保有全受益証券売却の場合は1,000分の1口以上、1,000分の1口単位)
買戻代金の支払い	原則として、買戻日の後5営業日目の海外受渡日のさらに日本における2営業日目以降の日(または海外受渡日の日本における2営業日目以降の日)に決済を行うことができない場合、直後の決済可能な日本における営業日(「日本における受渡日」)に、販売会社を通じて、各受益証券クラスの基準通貨で支払われるものとします。

## 投資者が直接的に負担する費用

購入(申込み)手数料	申込金額	申込手数料
	10万米ドル/1,000万円未満	2.20%(税込)
	10万米ドル/1,000万円以上 50万米ドル/5,000万円未満	1.65%(税込)
	50万米ドル/5,000万円以上 100万米ドル/1億円未満	1.10%(税込)
	100万米ドル/1億円以上 300万米ドル/3億円未満	0.55%(税込)
	300万米ドル/3億円以上	0.275%(税込)

(注)円資金から該当通貨に交換したうえでお申込みの場合、別途、為替手数料が片道1円/往復2円(上限)がかかります。

換金(買戻し)手数料	ありません。
スイッチング手数料	ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

### ファンドの管理報酬等

ファンドの純資産価額の年率0.96%(上限)(ただし、管理会社報酬の最低報酬額として、年間155,000米ドルがかかります。)およびその他の費用・手数料がファンドから支払われます。

手数料等	対価とする役務の内容	報酬率
管理会社報酬	ファンド資産の運用管理、受益証券の発行、買戻し業務	管理会社は、ファンドの信託財産から、ファンドの純資産価額の年率0.15%を上限とする(ただし、年間最低155,000米ドル)管理会社報酬を受領する権利を有します。
受託会社報酬	ファンドの受託業務	受託会社は、管理会社が受領する管理会社報酬の中から、受託会社報酬を受領する権利を有します。
管理事務代行会社報酬	ファンドの資産の管理事務代行業務	管理事務代行会社は、管理会社が受領する管理会社報酬の中から、管理事務代行会社報酬を受領する権利を有します。
投資運用会社報酬	ファンド資産の投資運用業務	投資運用会社は、管理会社が受領する管理会社報酬の中から、投資運用会社報酬を受領する権利を有します。
代行協会員報酬	目論見書の配布、受益証券1口当たり純資産価格の公表、運用報告書等の文書の販売会社への送付等の業務	年率0.01%
販売会社報酬	日本における受益証券の販売業務、購入・買戻しの取次ぎ業務、運用報告書の交付等購入後の情報提供業務、およびこれらに付随する業務	年率0.80%
その他の費用・手数料	①設立費用 ファンドの設立および受益証券の募集に関する費用・手数料は、管理会社により別の方法が適用されると決定されない限り、最初の3会計年度をかけて償却されます。 ②その他の運営費用 受益証券の募集により生じる費用(目論見書作成費用等を含みます。)、受益者向け通知の作成・配布費用、投資対象の保有にかかる費用、ファンドに関して課される税金、会計監査人の報酬および費用、法律、監査、評価および会計の費用、信託証書に基づく受託会社への払戻し、公租公課、補遺信託証書の作成および受益者総会の開催のための手数料および費用・その他ファンドの運営、管理および維持に関連する費用その他の費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。 その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率や上限額等を表示することができません。	

### 参照戦略のパフォーマンスに影響し、間接的にファンドの純資産価額に影響を与える費用

参照戦略の指数値の計算にあたり、その構成要素に対して実際の投資を行ったと仮定した場合に発生する取引費用に相当するコスト(複製コスト、事前に水準を確定することが困難なため、水準を表示することはできません。)および戦略手数料(指数値に対し年率0.5%)が控除されます。なお、法令、規制の変更その他の理由によりこれらの戦略手数料および複製コスト等の水準は変更されることがあります。

手数料および費用等の合計額およびその上限額ならびにこれらの計算方法については、ファンドの運用状況や受益証券の保有期間等に応じて異なるため表示することができません。

受益証券のスイッチング	ファンドの他のクラスの受益証券との間でスイッチングを行うことができます。スイッチング手数料はかかりません。スイッチング請求に関しては、販売会社において、スイッチング元クラスの受益証券の買戻し請求と、スイッチング元クラスの受益証券の買戻しの日本における受渡日以降におけるスイッチング先クラスの受益証券の買付申込みを受益者より一括して受注され、個々に行う取引として処理されます。なお、インターネットでは、スイッチング手続は取り扱われません。販売会社はスイッチングの取扱いを停止する場合があります。
-------------	--

インターネット取引 可 SMBC信託銀行・ホームページ <https://www.smbctb.co.jp>

\*税法が改正された場合等には、上記手数料率に変更される場合があります。